

# 線形代数学・同演習 A

7 月 12 日分 小テスト

学籍番号：

氏名：

次の  $n$  次正方行列  $A_n$  の行列式を計算せよ．計算過程も明記すること．

$$A_n = \begin{pmatrix} 2 & -1 & 0 & \cdots & 0 \\ -1 & 2 & -1 & \ddots & \vdots \\ 0 & -1 & 2 & \ddots & 0 \\ \vdots & \ddots & \ddots & \ddots & -1 \\ 0 & \cdots & 0 & -1 & 2 \end{pmatrix}$$

解) まず  $n = 2, 3$  のときを計算する．

$$\det A_2 = \begin{vmatrix} 2 & -1 \\ -1 & 2 \end{vmatrix} = 3, \quad \det A_3 = \begin{vmatrix} 2 & -1 & 0 \\ -1 & 2 & -1 \\ 0 & -1 & 2 \end{vmatrix} = 2 \begin{vmatrix} 2 & -1 \\ -1 & 2 \end{vmatrix} + \begin{vmatrix} -1 & -1 \\ 0 & 2 \end{vmatrix} = 4.$$

$n = 3$  のとき，第 1 行に関して余因子展開したが，ここで， $A_2$  と  $A_1$  (第 2 項の四角で囲んだ部分) が出てきていることに注意しよう．これより， $A_n$  に関しても第 1 行に関して余因子展開を行えば， $A_{n-1}$  と  $A_{n-2}$  が出てくると予想できる．さて， $n \geq 3$  のとき， $|A_n|$  を計算する．先程述べたように，第 1 行に関して余因子展開を行うと，

$$\begin{aligned} |A_n| &= 2 \cdot \overbrace{\begin{vmatrix} 2 & -1 & 0 & \cdots & 0 \\ -1 & 2 & -1 & \ddots & \vdots \\ 0 & -1 & 2 & \ddots & 0 \\ \vdots & \ddots & \ddots & \ddots & -1 \\ 0 & \cdots & 0 & -1 & 2 \end{vmatrix}}^{n-1} - (-1) \overbrace{\begin{vmatrix} -1 & -1 & 0 & \cdots & 0 \\ 0 & 2 & -1 & \ddots & \vdots \\ 0 & -1 & 2 & \ddots & 0 \\ \vdots & \ddots & \ddots & \ddots & -1 \\ 0 & \cdots & 0 & -1 & 2 \end{vmatrix}}^{n-1} \\ &= 2 |A_{n-1}| - |A_{n-2}|. \end{aligned}$$

後は漸化式  $|A_n| = 2 |A_{n-1}| - |A_{n-2}|$  ( $|A_2| = 3, |A_3| = 4$ ) を解けばよいが，

$$|A_n| - |A_{n-1}| = |A_{n-1}| - |A_{n-2}| = \cdots = |A_3| - |A_2| = 1$$

であるので， $|A_n| = n + 1$  となる．

講義や講義内容に関して，意見・感想・質問等を自由に記述してください．